

## 〔 英語ブロック〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

121  
at [アット]

- 前 ～に、～時に【時の一点を表す】  
～で、～に【比較的せまい場所を表す】  
☆ 上記以外にもさまざまな用法がある。

☆ 時刻・時の一点を表す語の前に使う。

at six (o'clock) 『6時に』  
at twelve thirty 『12時30分に』  
at noon 『正午に』 / at night 『夜に』  
at that time = then 『そのとき』  
at once 『すぐに』 (= soon)  
at first 『はじめは』  
⇔ at last 『ついに、とうとう』

☆ at, on, in について → プリント教材の  
【前置詞 at, on, it の使い分け】参照のこと

look **at** ~ 『～を見る』 / **at** the bus stop 『(その)バス停で』  
**at** the second corner [traffic light] 『2番目の角[交通信号]で』  
be **at** home 『家にいる』 / be **at** school 『学校(で勉強中)で』  
be surprised **at** ~ 『～に驚く』 / not ~ **at** all 『まったく～ない』

I got up **at** six (o'clock) this morning.  
『私は今朝6時に起きました。』

Look **at** this picture. 『この絵を見て。』

Change trains **at** Shibuya. 『渋谷で電車を乗り換えなさい。』  
※ 乗り換えなどの通過点を表すときは **at** を使う。

Turn left **at** the second corner.  
『2番目の角を左に曲がりなさい。』

I was surprised **at** the news.  
『私はその知らせに驚きました。』

122  
like [ライク]

- 動 ～が好き、～を好む  
前 ～のような、～のように

活用 : liked [ライクト]  
- liked - liking

※ 進行形ではふつう使わない。

3単現形 : likes [ライクス]

like to ~ 【不定詞】  
= like ~ing 【動名詞】  
『～するのが好き。』  
would like to ~  
『～したい』  
※ want to ~ よりも  
ていねいな表現

look like ~ ※ ~には名詞を使う。  
『～のように見える。～に似ている』  
sound like ~ 『～のように聞こえる』

※ look like ~ は目で見えたものや見たことについて、sound like ~ は耳で聞いたこと  
に対しての感想や考えをあらわす。

I like apples [dogs]. 『私はりんご[犬]が好きです。』

※ 『りんご』、『犬』などのように、種類全体の集合体を指すときは  
複数形にする。(ある特定の種類を指すときは the ~ などとなる)

He likes Meg very much. = He loves Meg. 『彼はメグが大好きです。』

I like to swim. = I like swimming. 『私は泳ぐのが好きです。』

Which do you like better, summer or winter?  
『あなたは夏と冬ではどちらが好きですか?』

→ I like summer better (than winter). 『私は(冬より)夏が好きです。』

I would like to talk with you. 『私はあなたと話したい。』  
→ 【単語帳 No. 612 ... would】

How do you like Japan? 『日本はいかがですか?』

I want to be [become] a teacher like you.  
『私はあなたのような先生になりたい。』

It looks like rain. 『雨になりそうです[が]降りそうです。』

Emi looks like her mother. 『エミは彼女の母に似ている。』

That sounds like fun. 『それは楽しそうです』

※ look, sound の後ろに形容詞を使うときには、前置詞の like は  
不要になり、look 形容詞 / sound 形容詞 の形になる。

123  
school [スクール]

- 名 学校、校舎  
授業 (= class)

go to school 『学校へ行く』  
a junior high school  
『中学校』  
after school 『放課後』

I go to school by bike. 『私は自転車で学校に行きます。』

※ 生徒が、(本来の目的である)授業を受けるために『学校へ行く』ときには、  
a, the などの冠詞をつけない。

ただし、建物としての学校をあらわすとき、勉強以外の目的で学校へ行く  
ときには、冠詞をつける。

Ken is a junior high school student. 『ケンは(1人の)中学生です。』

We play baseball after school. 『私たちは放課後野球をします。』

Where is your school? 『あなたの学校はどこにありますか?』

## 〔 英語ブロック〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

124  
☒ of [アヴ/オヴ]

副 前の

～の  
～のなか[うち]で【最上級の文などで】

※ 「テーブルの脚」、「あの部屋の窓」など、  
《～の 名詞》というときは the leg  
of the table, the window of that  
room というように《 a [the] 名詞  
of ~ 》の形になる。

「メグの手」、「犬の脚」など《人[動物]  
の 名詞》というときは Meg's hand,  
a dog's leg のように《 ~'s 名詞 》  
の形になる。

※ ただし、どちらにでも使える表現も  
ある。また today's paper 「今日の  
新聞」のような例外的な表現もある。

one of ~s 『～のひとつ[1人]』  
→ 【単語帳 No. 41 … one】

of course 『もちろん』  
→ 【単語帳 No. 963 … course】

be made of ~  
『～でできている、～から作られる』

This desk is made of wood.  
『この机は木製です。』

※ wood [ウッド] 「木材、材木」

☆ 原材料の形が残っているときは of を、  
形が残っていないときは from を使う。  
→ 【単語帳 No. 19 … from】  
【単語帳 No. 172 … make】

a picture of my family 『私の家族の(1枚の)写真』

a friend of mine 『私の一友人』

※ a と my を前後していっしょには使うことができない。そのため  
「私のひとりの友達」という言い方は、a friend of mine とするか  
単に my friend とする。(my friend だと、複数形の s がついて  
いないので、a がなくても1人であることがわかる。)

a cup of coffee 『カップ1杯のコーヒー』

a teacher of English (= an English teacher) 『英語の先生』

※ an English teacher は、English を強く読むと「英語の先生」の  
意味で、teacher を強く読むと「イギリス人の先生」の意味になる。

This is a picture of my family. 『これは私の家族の写真です。』

I'm a member of the tennis club. 『私はテニス部の一員です。』

How about a cup of tea? 『紅茶を1杯いかがですか?』

Most of the students in our school have a bike.  
『私たちの学校のほとんどの生徒が自転車を持っています。』

Kyoto is one of the oldest cities in Japan.  
『京都は日本で最も古い都市のひとつです。』

Tom is the tallest of all [the five (students)].  
『トムは全員の中で[5人の(生徒のうちで)]1番背が高い。』

※ 最上級の文の「～のなかで、～のうちで」には of または in を使う。  
of は《 of + 複数内容》の形で使う。単数名詞が後ろにくる場合は  
《 in + 単数名詞》の形になる。(例. in Japan, in my class など)

It's kind [nice] of you to help me.  
(→ 『私を手伝ってくれるとはあなたは親切です。』)  
→ 『私を手伝ってくれてありがとう。』

※ It ~ for [人] to … の文型で、～の部分に、人の性質を表す語が  
くるときには for ではなく of を使う。

125  
☒ him [ヒム]

代 彼を、彼に (⇔ her)

※ he の目的格  
→ 【代名詞表(13ページ)】参照

I helped him yesterday. 『私は昨日彼を手伝いました。』

Meg wants to go shopping with him.  
『メグは彼といっしょに買い物に行きたがっています。』

Give him this book. 『彼にこの本を渡しなさい。』  
= Give this book to him. ※ 上は第4文型、下は第3文型の文。

We call him Kazu. 『私たちは彼をカズと呼びます。』

126  
☒ up [アップ] (⇔ down)

副 上へ、立って、起きて、終わって

副 前の

stand up 『立ち上がる』

get up 『起きる』

wake up 『目を覚ます』

grow up 『成長する』

→ 【No. 766 … grow】

up to ~ 『～次第で』

Stand up. 『立ちなさい。』 (⇔ Sit down. 『座りなさい。』)

Get up! 『起きなさい。』 / Wake up! 『目を覚ましなさい。』

Time is up. 『もう時間です。 / 時間切れです。』

What's up? 『どうしたの? 調子はどう?』

It's up to you. 『それはあなた次第です。』

Tom climbed up that tall tree. 『トムはあの高い木に登りました。』

The boy ran up the stairs. 『その少年はその階段を駆け上がりました。』

※ stair(s) [ステア(ズ)] 「(屋内の)階段」 / 屋外の階段は step(s) → 【No. 1026】

## 〔 英語ブロック〔重要ランク順〕 オリジナル単語帳 〕

127

☒ SO [ソウ] 発音注意副 そんなに、とても、そう  
それほど、そのように

接 それで、だから

so ~ that ...  
『とても～なので…』not so ~ as ...  
= not as ~ as ...  
『…ほど～ではない』

So long. 『さようなら。』

So so. = So-so.  
『まあまあです。』

~, and so on 『～など』

so to speak 『いわば』

so far 『今のところは』

※ 女性や子供は、very のかわりに  
so を使うことが多い。He can run **so** fast. 『彼はとても速く走ることができます。』Thank you **so** [very] much. 『どうもありがとう。』I think **so**. 『私はそう思います。』 / I hope **so**. 『そうだといいな。』Is that **so**? 『そうなんですか?』Emi is **so** kind that everyone likes her.  
『エミはとても親切なので、みんなが彼女を好きです。』He was **so** old that he couldn't run.  
『彼はとても年をとっていたので、走ることができなかった。』= He was too old to run. 『彼は年をとりすぎていて走れなかった。』  
※ too ~ to ... 「～すぎて…できない」I was very tired, **so** I went to bed early.  
『私はとても疲れていた。それで早く寝ました。』※ **so** の前にはコンマ(,)が必要。 **so** のあとには「結果」が来る。= Because I was very tired, I went to bed early.  
『私はとても疲れていたので、早く寝ました。』※ **so** 「それで、だから」の文は because の文と書き換えができる。  
→ ダントツ英文法【接続詞…because の使い方】参照のこと。

128

☒ mine [マイン]

代 私のもの

※ I の所有代名詞  
→ 【代名詞表(13ページ)】参照☆ 所有代名詞はふつう  
所有格 + 名詞 に書き換える  
ことができる。**mine** = my + 名詞(s)※ 名詞が複数形の場合は  
複数形の s を忘れずに!This pencil is **mine** (= my pencil). 『この鉛筆は私のものです。』Meg is a friend of **mine**. 『メグは私の(いち)友人です。』

※ a と my を前後して一緒には使えない。→ ダントツ英文法【冠詞】参照。

Is this your notebook? 『これはあなたのノートですか?』

→ Yes, it's **mine** (= my notebook). 『はい、それは私のものです。』

Whose books are these? 『これらはだれの本ですか?』

→ They are **mine** (= my books). 『それらは私のものです。』That bag is newer than **mine** (= my bag).

『あのバッグは私の(もの)より新しい。』

129

☒ notebook [ノウトブック]

名 ノート、手帳 発音注意※ 日本人はよく「ノート」と言うが、  
英単語の note [発音: ノウト] は  
「メモ、覚え書き、短い手紙」。This is my **notebook**. 『これは私のノートです。』Those are not Emi's **notebooks**.  
『あれらはエミのノートではありません。』He lost his **notebook** yesterday.  
『彼は昨日ノートをなくしました。』I wrote his name in my **notebook**.  
『私は彼の名前をノートに書き留めた。』

130

☒ us [アス] 発音注意

代 私たちを、私たちに

※ we の目的格

☆ let's は let **us** の短縮形  
… let は本来『～させる』の  
意味。→ 【単語帳 No. 678】Come with **us**. 『私たちと一緒に来なさい。』That man doesn't know **us**. 『あの男性は私たちを知りません。』Please make dinner for **us**. 『私たちのために夕食を作ってください。』Ms. Kimura teaches **us** history [history to **us**].  
『木村先生は私たちに歴史を教えています。』  
※ «日常の習慣・反復» は現在形で表す。